

CHALLENGER!



秋田市 岩谷 文雄 (いわや ふみお) さん

ロケーションコーディネート事業の運営

東京で約16年間映像業界に携わり、某有名刑事ドラマの助監督の経験もある岩谷文雄さん。2021年のコロナ禍に体調不良で一時的に地元の秋田に戻り、日々を過ごす中で自身の経験がこの土地でも役立つのではないかと考えるようになった。

2025年11月、秋田市内に「いわや映画株式会社」を立ち上げ、ロケ地を誘致するロケーションコーディネーターとして動き出した。豊かな自然や街並みがありながら、まだ十分に活かされていない秋田をロケ地として紹介することで、地域に貢献したいという思いがある。現場で培った視点を武器に、新たな挑戦に踏み出している。

撮りたい場所が見つからない—— 現場経験が導いた、秋田で仕組みをつくる決意

映画制作の現場で欠かせない存在でありながら、一般にはまだ聞きなじみのない職業が「ロケーションコーディネーター」だ。作品の世界観に合った撮影場所を探し、所有者や地域と調整を行うなど撮影を円滑に進める役割を担う。

映画やドラマの助監督として映像現場に長く携わってきた経験を活かし、秋田県でロケーションコーディネーターとして活動するため「いわや映画株式会社」を立ち上げた。その第一歩としてクラウドファンディングに挑戦し、県内のロケ地を紹介するサイトを

2026年5月に立ち上げる予定だ。

この道を志した背景には、自身が監督を務めた自主制作映画（2025年公開）での苦い経験があった。撮影にあたり希望通りの一軒家が見つからず、撮影を断念し自宅をロケ地として使用したことがあったそうだ。

現在、ロケを誘致しスムーズに行うための非営利公的機関「フィルムコミッション」が既存機関として全国にあるが、岩谷さんは現場を知る立場として、それを補完する仕組みをつくりたいと考えている。

秋田の景色と魅力を伝えたい！

映像を通して

空き家を物語の舞台に ロケ地活用で 新たな価値を生む挑戦

海外では、ロケ地として撮影された場所は、観光地として大きな集客・収益をもたらすといわれている。岩谷さんは「秋田が選ばれるロケ地になることで、県内外へ魅力を発信するきっかけにもなるはずだ。ロケーションコーディネーターという役割を通じて、秋田に貢献したい」と語る。

人口減少が進む秋田県では空き家の増加が課題となっているが、そうした建物は撮影用のロケ地として活用できる可能性を秘めている。「実家が空き家になってしまった」、「管理や維持が負担になっている」といった声も多い中、短期間でもロケ地として提供できれば、新たな活用の選択肢になるだろうと彼は考えている。



築200年以上の古民家『commune (コミュニティ)』



古民家の所有者の遠山さん(写真右)と岩谷文雄さん(写真左)

残したい風景がここにある。 映像だからこそ伝えられる 秋田の現在地

秋田市河辺にある古民家『commune (コミュニティ)』。紹介したい場所は数多くあるが、特にここはこれからの発展を応援したい場所だという。『commune (コミュニティ)』は、クラウドファンディングで集めた資金をもとに再建された、築200年以上の古民家だ。所有者の遠山桂太郎（とおやまけいたろう）さんや遠山さんの親友、市内の大学生たちが協力しながら手を入れ、ワークショップなどの活動を重ねてきたという。

岩谷さんは「地域に貢献したいという思いが、この事業の原点」と話す。こうした場所をロケ地として紹介することが、地域の価値を伝えることにもつながる。秋田には、まだ知られていない魅力的な景色や空間が数多く残されている。映像を通して、その魅力は静かに、そして確かに広がっていくはずだ。

事業詳細

ロケーションコーディネーターとして、秋田の魅力溢れるロケ地を提案している。県内の提携先は自治体や企業など100件を超える。自社サイト「秋田ロケ地検索」では、ロケ地候補となる古民家や空き家の情報を掲載。多彩な撮影の誘致を通じて秋田の魅力为全国へ発信し、持続的な地域貢献を目指している。



公式LINE



秋田
ロケ地検索
(2026年5月公開予定)

会社名 いわや映画株式会社 連絡先 TEL : 090-7066-8048 Mail : contact@akita-loc.com

岩谷さんからひとこと

空き家など、ロケ地として提供
できる物件を紹介してほしい。

ロケ地として提供していただける場合、まずは「秋田ロケ地検索」にアクセスし、公式LINEから問い合わせをお願いします。